

No. 2404

演 題：牛の卵巢の腫瘍
機 関 名：四日市市保健所食品衛生検査所 氏 名：竹本 浩平
動 物 名：牛 品種：黒毛和種 性別：雌 年齢：161 か月齢
病 歴：なし

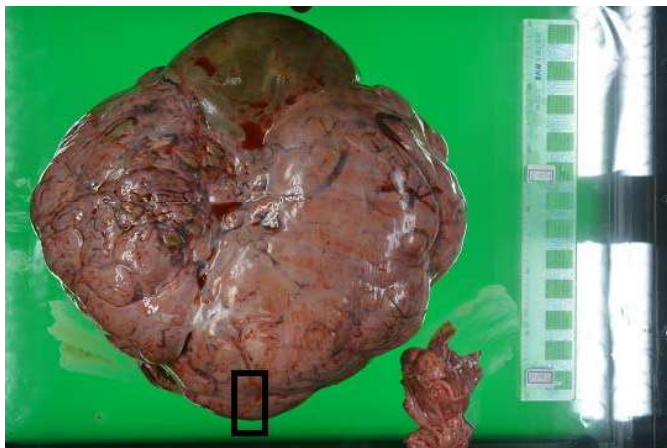
生 体 所 見：一般畜として搬入。削瘦及び被毛粗剛を認めた。

内 臓 所 見：片側の卵巢が直径 30 cm大に腫大していた。表面は平滑な被膜に覆われ、血管の走行を認めた。一部は黒褐色を呈していた。断面は乳白色、充実性で被膜により分画され、一部に乾酪壊死を認めた。黒褐色部の断面は全体が壊死していた。肝臓で富脈斑を認めた。反対側の卵巢及び他の臓器には著変を認めなかった。

組 織 所 見：腫大卵巢の組織は、好酸性の細胞質を持つ腫瘍細胞と、少量の結合組織により構成されていた。壊死巣が散在していた。腫瘍細胞の核は円形～楕円形で淡明、大小不同で、核小体が明瞭であった。核分裂像は認められなかった。無構造の好酸性物質を含む腔所が散在し、この物質及び腫瘍細胞の細胞質内の顆粒がPAS染色で陽性を示した。免疫組織化学では、抗インヒビン α 抗体 (Anti-inhibin α , Mouse-Mono (R1) (ABD)、ポリマー法) に一部の腫瘍細胞が陽性を示した。

固 定 方 法：10%中性緩衝ホルマリン液

切り出し部位 (図示)



行政処分： 全部廃棄 ・ 一部廃棄 (卵巢の腫瘍)

組織診断名：牛の卵巢の顆粒膜細胞腫

疾病診断名：牛の卵巢の顆粒膜細胞腫